

2024年6月26日

耕種（需要）と畜産（供給）とのマッチングについて

JA全農畜産総合対策部 統轄課 畜産サステナビリティ推進室
草 明生（くさ あきお）



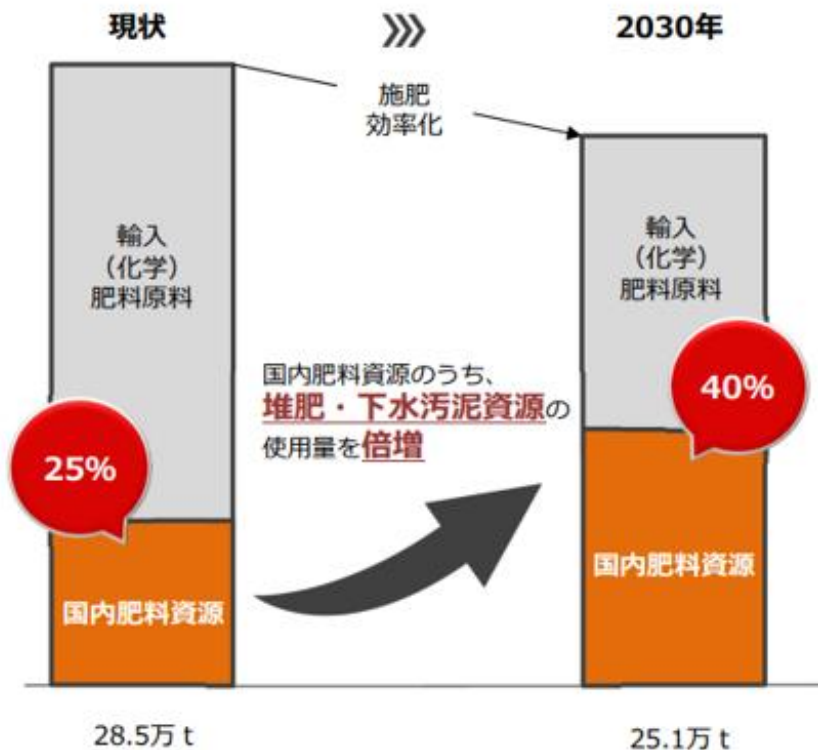
畜産酪農事業を未来につなぐ



全国農業協同組合連合会

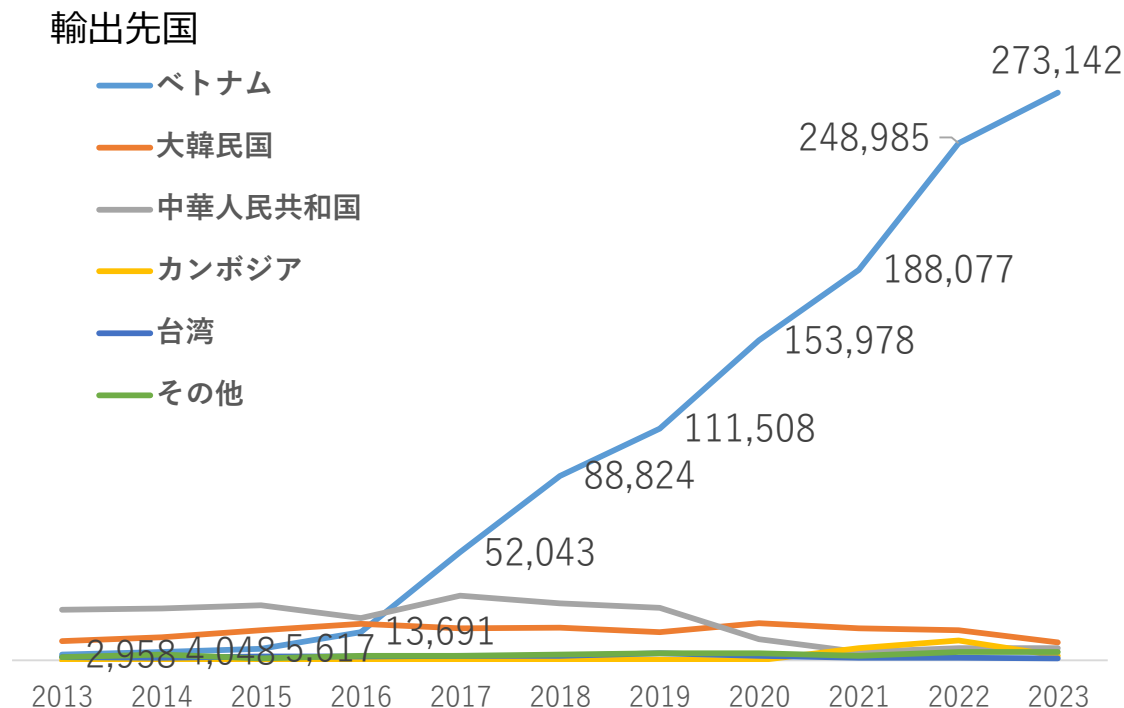
国内肥料資源の循環利用を進めたい。しかし、堆肥の輸出量は増加。

■ リンベースの肥料使用量



出所：農林水産省（2024年6月）「肥料をめぐる情勢」P12
注）令和5年12月に改訂された「食料安全保障強化政策大綱（食料安定供給・農林水産業基盤強化本部）」では、2030年までに家畜排せつ物由来堆肥・下水汚泥資源の肥料としての使用量を倍増し、肥料の使用量（リンベース）に占める国内資源の利用率割合を40%まで拡大することを目標に掲げている

堆肥の輸出量（t）



出所：財務省貿易統計

注1）2013年～2023年の1-12月の輸出量の推移。

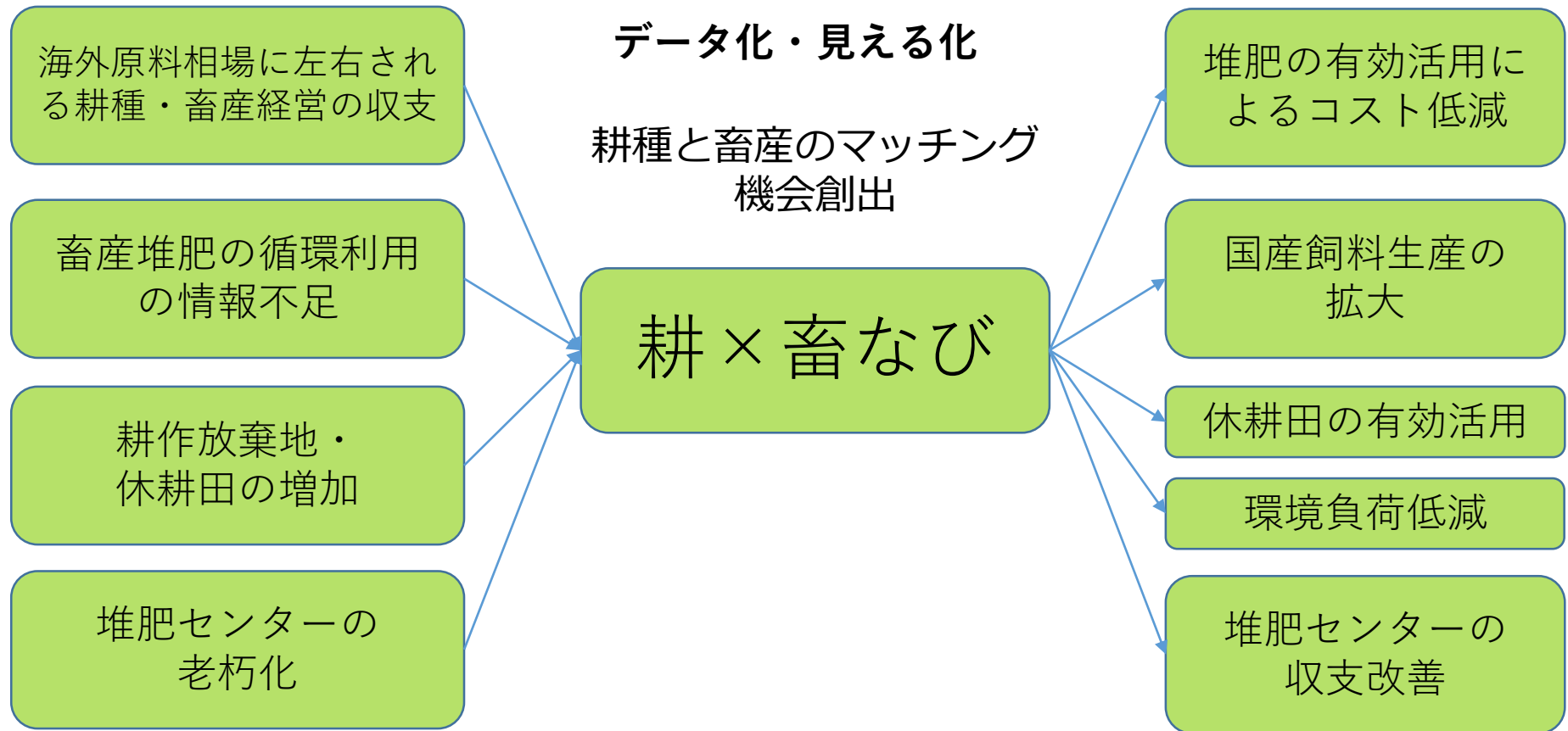
注2）HS番号3101.00-000「動物性又は植物性の肥料（これらを相互に混合してあるかないか又は化学的に処理してあるかないかを問わない。）及び動物性又は植物性の生産物を混合し又は化学的に処理して得た肥料」のデータ

目指す方向：データドリブンな耕畜連携の推進

※データドリブン；データや分析結果を主要な情報源として活用し、客観的かつ効果的な意思決定をするアプローチ。

情勢課題

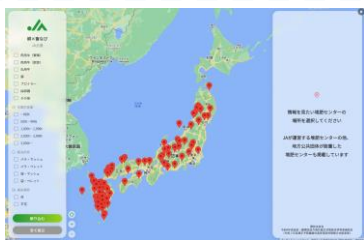
効果



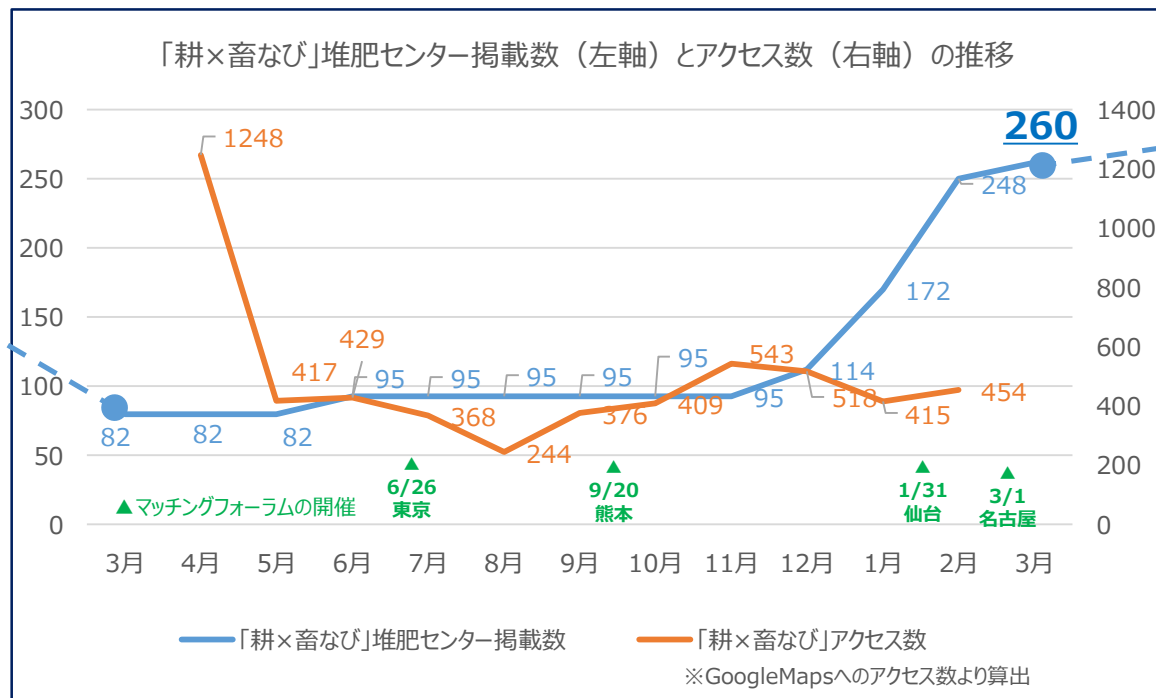
耕×畜なびの現在地

堆肥センターの生産・流通実態の見える化や、畜産農家と耕種農家とのマッチング機会の創出を目的としたウェブサイト。農水省補助事業を活用して制作。全国のJAや自治体にwebアンケートを実施して全国各地の堆肥センターの生産・流通実態を地図上に表示した。公開当初は82件の掲載であったが、令和6年3月時点で260か所のデータが掲載されている。閲覧者は畜種や形状等の条件を絞り、目当ての堆肥を生産する堆肥センターを検索することができる。

今年度はスマホサイトの制作、施用実績のある作物の表示、動画制作等の普及啓発素材の制作を予定。



<2023年3月24日公開時>



<2024年3月27日公開時>

令和6年度目標 ページビュー数 1,000/月

- ・ 耕×畜なびをどうしたら農業者に活用してもらえるか？
- ・ どのようなコンテンツが農業者に届くか？



ZEN-NOH